

# 平成 26 年度 山田小学校区 第 2 回きずなづくりトークまとめ ～仮称：地域コミュニティ連絡会～

10月31日(金)に開催された「山田小学校区第2回きずなづくりトーク～仮称：地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。  
(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 9 8 3 - 2 7 0 8)



ご参加ありがとうございました。

## 【当日参加団体一覧】

団体名		
若松町自治会	民生委員・児童委員	山田中学校
青葉台自治会	加茂保育園	錦田地区地域包括支援センター
旭ヶ丘町内会	旭ヶ丘幼稚園	三恵台子供会
三恵台自治会	旭ヶ丘幼稚園 PTA	若松さくら子供会
エコリーダー	山田小学校	

※当日参加者 15 名

会場アンケート：「テーマ別会議」「協議会設立」等について、参加者の意向を伺いました。



## 【会場アンケート結果】

テーマ別会議
①平日昼間の防災体制を整えよう！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6人
②子どもの安全の為に、地域で出来ることを考えよう！・・・・・・・・・・・・6人
③地域住人の交流の場の活性化について考えよう！・・・・・・・・・・・・・・3人
④その他・・0人

※テーマ①と②の2グループに分かれ話し合いました。(別紙「テーマ別会議まとめ」参照)

協議会設立の意向
①議会に向けた取組みを進めたい・・・・・・・・・・8人
②連絡会を継続したい・・・・・・・・・・・・・・7人
③その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0人
協議会設立を検討する場への参加意向
①参加したい・・・・・・・・・・・・12人
②参加できない・・・・・・・・・・・・3人
③その他・・・・・・・・・・・・・・・・0人

### — 団体より校区の皆さんに情報提供・協力をお願い —

- 旭ヶ丘幼稚園：未就学児を対象に月1回「幼稚園で遊ぼう会」実施。対象者にお声がけください。
- 旭ヶ丘幼稚園 PTA：月1回古紙回収(車乗り入れ可)、ベルマークの回収にご協力願います。
- 山田小学校：地域のご尽力でスポーツフェスティバル(ふれあい交流)が盛大に開催できました。
- 三恵台自主防災会：黄色いハンカチ、声かけ避難による隣近所の助け合いの防災訓練を実施。
- 旭ヶ丘町内会：水・木曜「旭ヶ丘カフェ」/第1&3月曜 10:00～「仲よし体操」(認知症予防等)実施

## テーマ①「平日昼間の防災体制を整えよう！」

(テーマ①班:参加人数7人)

●平日昼間の防災体制について、校区の防災体制づくりも含めて皆さんのアイデアや意見を出し合いました。

### 平日昼間に災害が発生したら、 どんな事が困るか？

#### リーダーがいらない

- ・まとめる人がいない
- ・指揮するリーダーになる人が誰になるのか心配。組織的なアクションが取りづらい。

#### 人手不足

- ・共助体制を作るのに人員が不足。特に男性がいらない。
- ・救出、救助を行える人が不足する。
- ・火災が発生しても消火栓、ポンプを使える人がいない。

#### 高齢者の救出

- ・高齢者(足の悪い人、認知症の方)の避難。
- ・高齢者が多い団地の為、自治会館まで行けるかが不安。

#### 情報収集、状況確認

- ・困っているお宅(個人)が、素早く特定できない。

体制がとれていない。  
防災訓練にとどまっている。

### 解決策を考えよう！

#### ★声かけ避難

- ・避難する際は隣近所声かけをし、安否確認をしながら避難する。状況把握ができる。

#### ★情報交換の場

- ・他自治会のやり方を参考にする。任期、選任方法、組織構成等を知りたい。

### ー 体制づくりー

#### ★サブグループを作る(2重体制)

- ・班長がいなくても、サブ班長が指揮する体制。
- ・例:消火班の班長に、サブの班長をつける。

#### ★サブの人数を増やす。

日中、家に居る

- 65歳以上の方、
- 女性 を活用しよう！

リーダー(班長)は、ハードルが高く重荷に感じられるが、サブであればハードルが低く取り組みやすい。

- ・自治会の副会長クラスを自主防災会に引っ張りこみ。今まで班長だった人をサブ班長に回す。
- ・防犯パトロールしている方々と連携をとる。

#### ★女性・高齢者の防災訓練

- ・女性でもポンプが使えるように手順書(マニュアル)を作成した。
- ・組長、班長会で講習をするが、そこから広がらない。地域の人が集まる場で、少しでも講習の時間が設けられれば。
- ・気軽に誰でも参加できる勉強会や、皆がわかるシステムがあると良い。

#### ★防災委員の任期は複数年にする

- 任期が1年では短いと、組織(防災活動)の維持・レベルアップができない。  
⇒理由がない限り、役員を継続してもらう。
- ・防災部門に関しては、町内会役員の留任を。役員任期終了後は、消火班や支援員として残した。
- ・防災委員会のメンバーを7人(役員経験者)ほど人選し、任期2~5年とすることを提案予定。

#### ★人数を増やす方法(声かけ)

- ・回覧は見ないので効果なし。口コミが良い。
- ・防災役員OBを頼る。
- ・人が集まる場所をお願いする。情報発信。

### 解決の為に「地域一斉のルール作り・制度化」が必要!!

- ・地域全体で一斉にルール化しないと、解決にならない。
- ・複数の自主防災会の連携、コミュニケーションが必要。各町内の足並みをそろえたい。
- ・小さい町内会では、独自で行うには限界があるので、他と協力できれば強化につながる。

テーマ②「子どもの安全のために地域でできることを考えよう！」

(テーマ②班参加人数 8名)

●交通量が増加したことによる子どもの交通安全対策や、下校時の不審者対策、山田小を中心とした地域の交流を促進することについて皆で話し合いました。

ふだんの生活の中で、子どもが危険になる場所や時間帯は？

危険な場所

- ・信号のない横断歩道
  - ・だれもいない住宅地（通学路）
  - ・住宅地の道路が入り組んでいる
  - ・抜け道として住宅街を使う（信号がないからスピードが速い）
- ⇒子どもは油断している  
⇒思わぬ場所の交通事故が心配

危険な時間帯

- ・登下校時交通量が多く心配
- ・学校外や留守番など子どもだけの時のケガ等

かけこみ 110 番の家

- ・人がいないことも多い
- ・緊急時に駆け込める家の確認ができていない

不審者情報が多い・・・

- ・子ども達が自分の知らない人に声を掛けられると不審者ではないかと心配になる。せっかく地域の方が声を掛けてくれたのに申し訳ない
- ・1人で歩いている子への声掛けの難しさ

■不審者と思われてもいい！

- ・逆に皆で不審者の格好をして歩いてみると、子ども達が危険を実感(リスク管理)できるかも？

■地域の人と顔見知りになろう！！

- ・地域のお祭りや運動会などへ親子で参加 ⇒ 地域の人と顔見知りになるチャンス
- ・近所付き合い＝空き巣対策になる
- ・親の背中を見て子どもは育つ。あいさつはまず親から
- ・しやぎり・子ども会神輿参加者は年々増加

加茂インター開通にともなう交通量の増加

- ・交通量が多い時間帯は朝・夕
- ・地域の方が心配し、朝の車の台数計測を実施
- ・開通後 3 件交通事故あり / ミラーも二回交換
- ・カーブになっているので前の車に気付かず追突
- ・子どもから見てもわかりにくい
- ・「速度おとせ」の看板があるが効果は？
- ・道路に車のスピードを落とす工夫をしてほしい

■かけこみ 110 番の家を確認しよう

- 親子であいさつしておくことが大事！

■市と対策協議

- 市が最大限できることを実施予定

顔見知りになる機会を増やすには？

■山田小を中心とした交流を広げよう

- ・運動会がスポーツフェスティバルという形で復活。今年は PTA 行事と同時開催
- ・「地域でやろう」という機運が高まる

■中学校の協力

- ・スポーツフェスティバルの「部活対抗リレー」に、顧問の先生が半強制的に中学生を参加させてくれた（参加するとすごく楽しむ）
- ・先生の後押しが効果的
- ・継続参加すると皆顔見知りになる

■子どもの安全を守るため地域でできることは？

- ・交通ルールを守るよう、大人へ働きかけていく
- ・小学校・家庭で子どもに「危ないよ」と頻りに声掛け
- ・子どもに繰り返し交通の危険を伝える

見守り活動

- ・小学校では地区ごとに日を決め、年に数回見守り活動を行なっているが、頻繁だと負担も大きい
- ・下校時は帰る時間帯がばらばらで見守り時間が長い

■地域の方へ見守りの協力を求めよう！

- ・地域の方（老人会など）にできる範囲で協力してもらいたい
- ・散歩時間などの工夫、ワンワンパトロールなど（防犯にもなる）

■父親（おやじ）が活動の中心に！

- ・自治会レベルだと錦田地区と分かれるので難しい。母親も手一杯
- ・おやじの会で「山田小でどんど焼き・凧揚げ・自転車に乗る練習など」の企画案あり
- ・少し手のあいた父親が参加・企画＝自分達の仲間づくり＝地域の子どものためになる

- ・地域の方も皆やりたい思いは一緒
- ・大勢の仲間がいれば皆でやりたい

きっかけが大事

◎中学生は頼りになる！

- ・防災訓練時、リヤカーを使った搬送や炊飯で中学生が活躍
- ・役割を持たせるとしっかりやる
- ・「中学生はこういう力がある」と皆に周知するべき。中学生も役割を自覚し自信になる

子どもの安全は地域の方と顔見知りになることから始まる。  
地域の方と協力できる関係を築き、皆が安心できる地域を目指そう！